

船舶事故等調査報告書

平成21年8月27日  
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2009長第80号	
事故等種類	乗揚	
発生日時	平成21年5月13日 13時30分ごろ	
発生場所	長崎県平戸市 平戸瀬戸東水道の広瀬 広瀬灯台から真方位094° 60m付近 (概位 北緯33° 22.9′ 東経129° 34.2′)	
事故等調査の経過	平成21年6月15日、本事故の調査を担当する主管調査官（長崎事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報		
船種船名、総トン数	貨物船 だいせん丸、199トン	
船舶番号、船舶所有者等	135043、大泉物流株式会社、久木山汽船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長、五級海技士（航海）	
死傷者等	なし	
損傷	船底左舷側に凹損	
事故等の経過	本船は、船長ほか3人が乗り組み、船首約1.4m、船尾約3.0mの喫水で、平戸瀬戸東水道を北進中、潮流により圧流され、平成21年5月13日13時30分ごろ、広瀬南東岸の浅瀬に船底が接触して衝撃を受けた。 船底接触後、機関を停止して船体点検及びタンク計測を行ったが異状はなく、そのまま航行を続け、後日、ドックにおいて前示損傷が発見された。	
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北北東、風力 3 海象：潮汐 下げ潮の中央期、平戸瀬戸に約2.7ノット（kn）の南西流	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	あり なし あり 本船は、平戸瀬戸の潮流を配慮して東水道の中央を航行しないで、北方寄りの進路で航行した可能性があると考えられる。 当時、平戸瀬戸には約2.7knの南西流があったものと考えられる。
原因	本事故は、本船が平戸瀬戸東水道を北進する際、北寄りの進路で航行したため、浅瀬に乗り揚げたことにより発生した可能性があると考えられる。	